



建築技術性能証明書

技術名称：絆ジョイント工法

ー小口径鋼管を用いた杭状地盤補強材の機械式継手ー

申込者：誠信 GLOCAL 株式会社 代表取締役 松本 陽一

愛知県名古屋市中区錦三丁目 23 番 18 号 ニューサカエビル 9 階

HS 株式会社 代表取締役 伊藤 純一

東京都江戸川区上篠崎四丁目 30 番 9 号 1F

技術概要：本技術は、地盤補強工法として使用する小口径鋼管を用いた杭状地盤補強材（以下、“補強材”と称す）を対象とした現場溶接を用いない機械式継手工法である。本工法は、上側の軸鋼管に対し継手部品（上キー）を、下側の軸鋼管に対し継手部品（下キー）をそれぞれ工場溶接し、現場で上キーと下キーを嵌合接合することで、現場溶接作業を伴うことなく補強材を接合することができる。

開発趣旨：従来、補強材の接合は主に現場溶接により行われるが、溶接部の品質は溶接作業者の技量や溶接作業環境によって左右されるため、安定した品質を得られないおそれがある。また、溶接部の品質確認試験も困難な場合がある。本継手は、軸鋼管と継手部品を工場で溶接するため、継手部の安定した品質が得られること、および、現場作業の軽減を図ることを意図して開発したものである。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2024 年 12 月 9 日

一般財団法人 日本建築総合試験所

理事長 川瀬 博



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

資料 1：絆ジョイント工法 性能証明のための説明資料

資料 2：絆ジョイント工法 製造・設計・施工指針

資料 1 には、本工法の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料 2 には、製造指針として本工法で使用する継手部品の製造要領、補強材の加工要領などが示されている。また、設計指針として絆ジョイントを有する補強材の許容耐力、施工指針として施工手順などが示されている。

証明内容：申込者が提案する「絆ジョイント工法 製造・設計・施工指針」に従って製造、設計、施工された絆ジョイントを有する補強材は、施工時の圧入力や回転トルクに対して必要な耐力を有し、長期および短期荷重時の圧縮耐力として、接合される軸鋼管の長期および短期許容圧縮耐力を採用できる。